

## 新規就農者の育成・確保に向けた取組について

### ◆新規就農者交流会を開催しました！

令和3年1月12日(火)に、相双地域の新規就農者の研鑽と仲間づくりに向けて『新規就農者交流会』を開催しました。交流会は午前には視察研修、午後にはセミナーを行い、参加した15名の若手農業者で活発に交流が行われました。

午前の視察研修では、青年農業士の仲野内勇作氏の栽培ほ場や(株)美野里ファーム(指導農業士 堀川由也氏)のライスセンターを訪問し、就農からの経緯や今後の営農の展望など、幅広く講話をいただきました。午後のセミナーでは、栃木県佐野市の(株)わくわくお米本舗の亀田泰志氏を講師に招き、経営改善に向けたセミナーやグループワークを行いました。

参加者からは、「交流が楽しかった」という声の他に、「課題解決のきっかけ作りとして勉強になった」との感想がありました。

### ◆相双地域WEB就農座談会を開催しました！

令和3年1月30日(土)に、県内外からの相双地域への就農を促すことを目的とした「相双地域WEB就農座談会」をオンラインで開催しました。

相馬市、南相馬市、浪江町職員から、地域の特色、就農支援制度について紹介したほか、管内の先輩農業者である「田中果樹園」「(有)I Loveファームおだか」「NPO法人Jin」の皆様に参加いただき、相双地域で農業を行う上での思いや実際の仕事内容など、様々なお話をいただきました。

初のオンラインでの開催でしたが、当日は、15名の参加者から農地の確保についてなど多くの質問があったほか、4件の個別相談が実施され、相双地域での就農へ、強い興味・関心が持たれていることが分かりました。

今後も、新規就農者が生き活きと活動し、経営を充実していけるよう、また、新たな農業者を当地域に呼び込んでいけるよう取り組んでまいります！



## 若手農業者が活躍しています！

### ◆A.C. ハマーズ2001の概要と活動

「A.C. ハマーズ2001」は、相馬地方の若手農業者19名で構成されている、青年農業者組織です。月に1回程度定例会を開催し、会の活動やイベント参加について話し合っています。また年に1回、会員の栽培ほ場を回る『会員宅視察研修』を実施しており、日頃の営農活動や技術、資材、販路等について、会員間で情報交換をしています。

令和2年11月には県補助事業を活用し、いわき市で先進地視察研修を行いました。研修の一環として、スポーツ交流イベント「いわきドリームチャレンジ2020」に出店し、農産物の販売やPRを行ったほか、先進的な農業経営体を視察し栽培技術の向上を図りました。特に視察先では、土壌病害やその対策について積極的に質問し、技術的アドバイスを受けるなど、対策の実践に意欲的な様子でした。

若手農業者の皆さん、ぜひ一緒に活動しましょう！



## 令和2年度先端技術等実証結果について

令和2年度から南相馬市小高区の(株)飯崎生産組合では、スマート農業技術等の実証に取り組み、作業の省力化及び労力の分散と生産の安定化の課題を解決しながら、経営規模の拡大に挑戦してきました。

令和2年度に実証された技術等の中でも、特に経営規模拡大への効果が高かった2つの技術を紹介します。

### 密苗

～技術の内容～

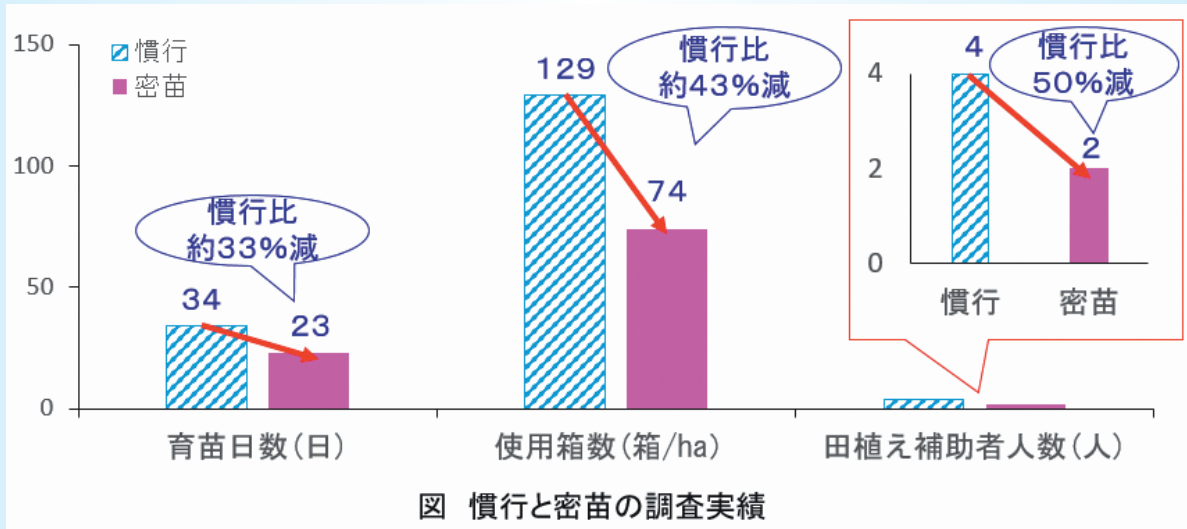
- ・通常、苗箱当たり乾粕100～200gで播種するところを、乾粕250～300gで播種する技術。

～実証結果～

- ・育苗日数の短縮や使用資材の低減により、省力及び低コストの効果が確認できました。
- ・10aあたりに使用する苗箱数が低減され、田植え時の苗運搬に必要な人員を削減できました。

～期待される効果～

- ・空いた人員が別の作業を実施できるため、大豆等の適期作業の実施（経営品目の複合化）が期待されます。



### GNSSガイダンス・自動操舵システム

～技術の内容～

- ・GNSSガイダンス

GNSS（衛星測位システムの総称）の位置情報と、地上からの補正情報をスマートフォンなどを介して活用し、高い測位の精度で作業経路等をナビゲート（ガイダンス）するシステム。

- ・自動操舵システム

ガイダンスシステムに連動し、ハンドル操作なしで農機具を自動で操作するシステム。

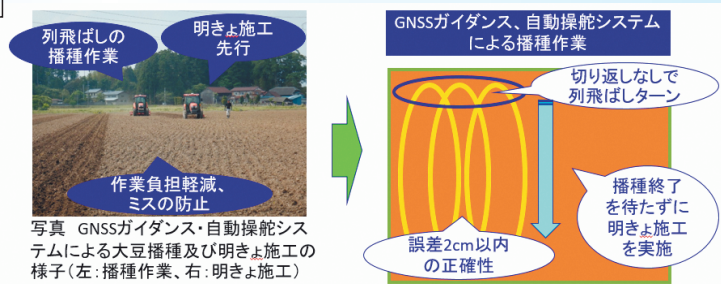
～実証結果～

・従来までの作業軌跡を大きく変更できたため、作業効率が大幅に向上し、10aあたりの作業時間が削減されました。

- ・これまでの作業順序にとらわれることなく、作業員が別の作業に早く移れるようになりました。

～期待される効果～

- ・作業員が効率良く次の工程の作業に進めるため、栽培面積の拡大が期待されます。





## 相双の未来への一歩 ～栽培はじめてみませんか～

### ナシのジョイント栽培の推進について

ナシのジョイント栽培は神奈川県が開発した早期成園化技術で、複数の樹体を連続的に接ぎ木で連結し、直線状に1つの集合樹として仕立てる方法です。

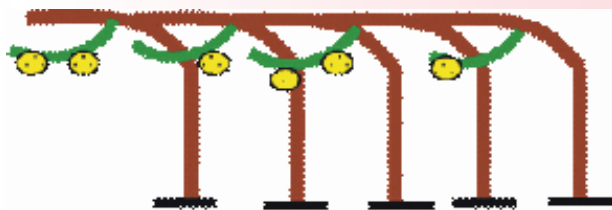
樹冠拡大が早く、定植後5年程度で慣行栽培の成園並の収量が確保できます。また、直線的な移動で作業することができ、せん定や収穫等の栽培管理の作業時間を慣行栽培と比較して、4割削減することができます。

相馬地方では、高樹齢化が進んでおり、園地の若返りを図るため、改植及びナシのジョイント栽培の導入を推進しています。令和2年度の導入面積は168aまで拡大しています。

なお、ジョイント栽培は神奈川県が特許を取得しているため、取り組む際は、特許使用料金を支払わなければなりません。

福島県では、神奈川県とJA全農福島の間で特許技術の許諾契約を結んでいます。

ジョイント栽培に取り組む際は、必ずJAに相談してください。



### FOEAS導入ほ場における大豆の栽培状況について

現地ほ場で、新技術を取り入れた大豆栽培が始まっています！

FOEAS（フォアス）とは、水田の畑地利用時においては作物の最適な地下水位を維持し、水稲栽培時には水管理の適正・省力化を実現するなど、地下かんがいと暗きょ排水の両方の機能を兼ね備えたシステムです。

今年度、鹿島区真野地区のFOEAS導入ほ場にて、大豆作付実証ほを設置しました。「播種期には地下水位を下げ」、「開花期には地下水位を上げる」といった、時期に応じた最適な土壤水分を維持した結果、長雨にも負けず生育は旺盛で、収量は管内平均を大きく上回る230kg/10a(精子実重、坪刈収量)となりました。



写真 開花期の生育状況

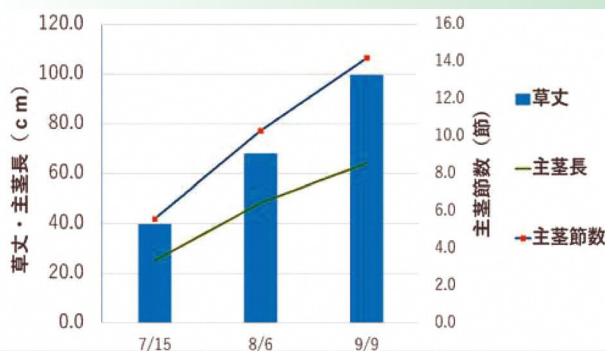


図 FOEAS導入ほ場の大豆生育経過

## 安心・安全な農作物の生産のために 農薬は適正に使用しましょう!

昨年、管内にて**農薬の不適切な使用が判明し、出荷物の自主回収を行う事案**が発生しました。産地の信頼を確保するために、**農薬適正使用を徹底**しましょう。

### (1) 防除機の洗浄について

○散布後、防除機のタンクや配管、ホースの残液を抜き、**しっかり洗浄を行うこと!**

#### 【セット式動力噴霧機の洗浄のポイント!】

- ・ ストレーナーはきれいな水とブラシで洗浄する
- ・ 薬液タンクの**底**をきれいな水で洗浄する
- ・ ホースにきれいな水を通し、**ホース内に残った農薬を洗い流す** (20ℓ×3回以上)

#### 【背負い式動力噴霧機の洗浄のポイント!】

- ・ 動力噴霧機に**残った農薬を排出**する
- ・ フィルター部はきれいな水とブラシで洗浄する
- ・ きれいな水を通し**ホース内に残った農薬を洗い出す**

### (2) 農薬の使用基準を厳守する

○使用前には、必ず**ラベルの使用基準と最新の登録内容を確認**すること!

作物名	摘用病害虫名	希釈倍率	10アール 当たり 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	○○を含む 農薬の 総使用回数	使用方法
登録内容はきちんと確認しましょう!							

### (3) 農薬の飛散防止等対策の徹底

- ・ ほ場周辺の栽培者と、農薬散布に関する情報共有を行うこと。
- ・ 強風時の薬剤散布は避け、散布時は必要最小限の量と範囲で行うこと。
- ・ 飛散しにくい剤型(粒剤等)の農薬を選ぶこと。

### (4) 使用記録の記載

・ 農薬使用基準を遵守するために、散布記録はその日のうちに記入すること!

## 「原子力被災12市町村農業者支援事業」募集のご案内

原子力被災12市町村内で営農再開等を行う際に必要な農業用機械やパイプハウス等の導入をサポートします。



#### Q 補助事業の対象者は?

- ◆原子力被災12市町村内\*で営農再開、規模拡大、新規作物の導入等を行う農業者等  
※南相馬市、飯館村、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、(田村市、川俣町)

#### Q 補助の内容は?

- ◆補 助 率 補助対象となる事業費の3/4以内※果樹の新植・改植は別途、上限額あり
- ◆事業費上限 1,000万円(市町村が特に認める場合は3,000万円)
- ◆補助対象 農業用機械やパイプハウス等の導入、果樹の新植・改植、花き等の種苗等

#### Q 申請等の手続き・相談窓口は?

申請方法、募集時期(6月、8月、2月頃)等については、お住まいの市町村農政担当課もしくは相双農林事務所農業振興普及部・双葉農業普及所まで御相談ください。